

流通力調査および重要関係指標の時系列表

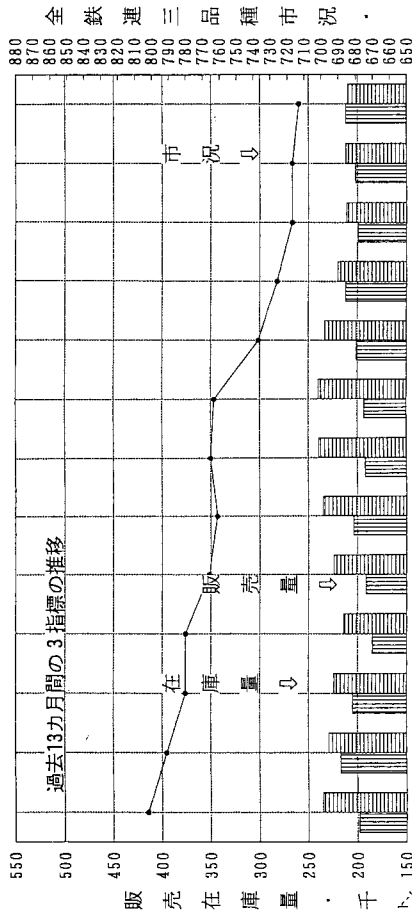
Table with columns: 種別 (Period), 全鉄連流通調査3品目総合 (Inventory, Sales, Inventory Rate), 全鉄連状況 (Sales, Inventory), 販売店 (Revenue, D1), 粗鋼生産 (Inventory, Sales), 小棒 (Inventory, Sales), H形鋼 (Inventory, Sales)

在庫率1年9カ月ぶりに1カ月を切る (2012年10月)

(総計欄) 10月の仕入れ量は209,939トンの前月比+3.6%前年同月比+4.8%、販売量は211,753トンの前月比+4.7%前年同月比+7.2%。前月比、前年比で共に仕入れ、販売双方において増加です。需要不足の局面からはまだ抜け出せていませんが、復興需要や大都市圏の再開発物件もあって、やや回復と思われるのですが、この基調が継続するか、不透明な部分もあります。一方、在庫量は210,449トンの前月比-0.9%前年同月比-10.3%、在庫率は99.4ポイントと減少し、1カ月を切ったのは22年12月以来の1年9カ月振りとなっています。このように需給はタイト化しているにも関わらず市況は弱含み横ばいで推移しています。

(販売欄) 品種別では異形棒鋼が2.6%増加、大阪3.8%増加、愛知12.2%の著増となつています。H形鋼は2.7%増加、東京18.4%著増、大阪6.5%減少、愛知5.8%増加と3地区3様でした。その他品種は山形鋼11.3%、コラム17.4%と両品種で著増、溝形鋼6.5%、C形鋼8.8%と共に増加しています。

(在庫欄) 品種別では異形棒鋼7.3%減少、東京6.8%、大阪5.9%、愛知9.3%と3地区共に減少、H形鋼は6.4%増加、東京5.9%減少、大阪20.1%著増、愛知2.6%増加となっています。その他品種では山形鋼4.7%、溝形鋼2.1%、コラム6.2%、C形鋼8.5%と4品種共に減少しています。



- 23/10 市況弱含みで販売に陰落す
- 11 販売増加、市場好転の兆し
- 12 需要期待感あるも一進一退
- 24/1 仕入れ販売共に大きく減少
- 2 市況軟弱地合で停滞感強い
- 3 値上げだが鈍い市中の反応
- 4 停滞感引きすぎり荷動き悪化
- 5 販売不振在庫過剰市況軟化
- 6 市況下落販売増も高在庫率
- 7 販売増在庫減で在庫率低下
- 8 販売在庫減少乏しい回復感
- 9 販売先細り在庫削減進まず
- 10 在庫減販売増も市況弱含み

※販売店収益動向(D1)は毎月の各地区業況アンケート結果・間3より。(r=変更)